

2010年4月20日
財団法人イオン環境財団

植樹本数が累計100万本に
北京「万里の長城植樹」活動実施について

財団法人イオン環境財団(理事長：岡田卓也 イオン(株)名誉会長相談役)は、4月24日(土)北京市人民政府とともに北京市延慶県八達嶺(えんけいけんはったつれい)において、「万里の長城植樹」を実施いたしますのでご案内申し上げます。

「万里の長城植樹」活動は、環境問題に国境はないといわれる中、1995年に北京市で開催された「第2回日中環境問題国際シンポジウム」(※)において、数百年にわたる森林伐採で消滅した万里の長城周辺の森を再び蘇らせたいと願う(財)イオングループ環境財団(現(財)イオン環境財団)からの提案を機に、弊財団と北京市が協働して1998年から開始したものです。1998年の植樹活動開始以来、昨年までで植樹本数が累計約98万本、参加者は計約15,000名(日本側：8,200名、中国側：6,800名)の方々に参加いただいています。

この度の植樹活動は、5ヵ年計画の4年目となり日本からのボランティア約1,400名と中国のボランティア700名の方々、合わせて約2,100名で、モウコナラやアブラマツ等の植種を合計約2万本植樹いたします。なお、この度の植樹活動で累計本数が100万本になります。

イオン環境財団では、水と緑を守っていく活動として、本年も北京万里の長城をはじめ、ベトナムやカンボジア、ラオスでの植樹活動のほか、北海道支笏湖や東京都三宅島、長崎県南島原市など、国内外で地域の皆さまとともに木を植えてまいります。

<中国万里の長城植樹について>

1. 開催日時：4月24日(土) 9:00～11:00
2. 植樹場所：北京市延慶県八達嶺 万里の長城付近
3. 樹種：モウコナラ、アブラマツ、コノテガシワ、イタヤカエデ 等
4. 主催：北京市人民政府、(財)イオン環境財団
5. 主な参加者：北京市市長 郭 金龍 閣下
元内閣総理大臣 海部 俊樹 氏(※)
参議院議員(元環境庁長官) 広中 和歌子氏(※)
(財)イオン環境財団
理事長 岡田 卓也(イオン(株)名誉会長相談役)
理事 歌田 勝弘(味の素(株)特別顧問)
監事 行天 豊雄(財)国際通貨研究所理事長)
評議員 大宅 映子(株)大宅映子事務所社長)
評議員 末吉 竹二郎(国連環境計画・金融イニシアチブ特別顧問)
評議員 松井 孝典(東京大学名誉教授)
評議員 岡田 元也(イオン(株)代表執行役社長)

※「日中環境問題国際シンポジウム」について

このシンポジウムは、(財)イオン環境財団、(財)環境情報普及センター、中国環境科学学会、中国社会科学院日本法研究センターが主催し、日中両国が直面する環境問題について、両国の専門家による情報交換、意見交換を通じ、環境保全に関する理論、技術、政策研究促進のため、1993年から1997年に隔年で3回開催されたものです。なお、海部氏および広中氏は、ともに同シンポジウムのメンバーです。